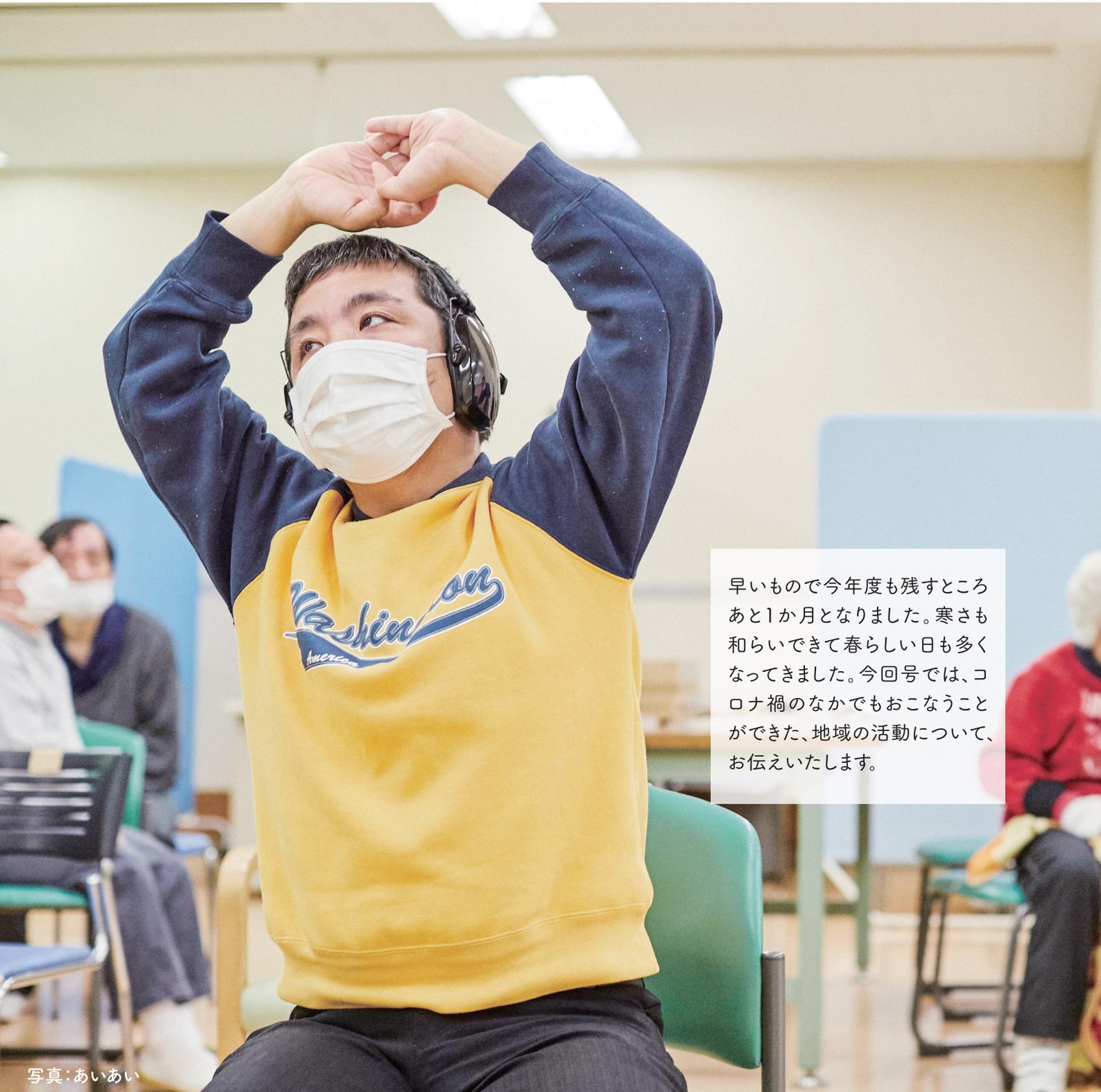




題字：杭瀬福成園



早いもので今年度も残すところあと1か月となりました。寒さも和らいできて春らしい日も多くなってきました。今回号では、コロナ禍のなかでもおこなうことができた、地域の活動について、お伝えいたします。

写真：あいあい

ちいきのなかで
いっしょにできること
きもちのよい
あいさつからはじまる第一歩

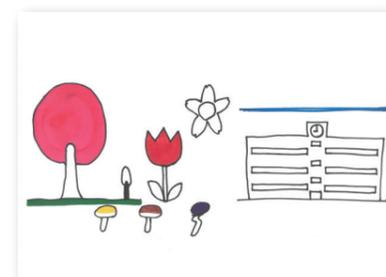
ミーツ・ザ・福祉に参加

【清流園】

12月11日にミーツ・ザ・福祉(西武庫)に参加しました。武庫地区の福祉事業所や地域課を中心に連携を取り合いながら計画を立てており、清流園も準備段階から参加してきました。そして迎えた当日はたくさんの地域の方に来てもらって大盛り上がりとなりました。もちろん、清流園の利用者も参加して楽しむことができました。ステージの最後に福祉についてのトークセッションがあり、清流園のスタッフも参加してきました。今回の催しを通じて、武庫地域としてみなさまとつながれたことがとても良い機会となりました。



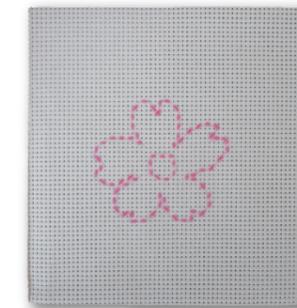
case 1



タイトル：桜と校舎
作者：竹森敦さん【塚口福成園】



タイトル：もうすぐ春
作者：利用者【同】【あいあい】



タイトル：刺繍でさくら
作者：勝旭洋さん【清流園】

コミュニティ花壇での園芸活動

【あいあい】

事業所近くの中後地区のコミュニティ花壇をお借りして、園芸活動をおこなっています。コロナ禍になってから機会が減ってしまいましたが、感染状況が落ち着いたら少しずつ園芸活動を再開し地域の方と一緒に花壇づくりをおこなえたらと思います。



case 2

定期的に近くの公園を清掃

【抗瀬福成園】

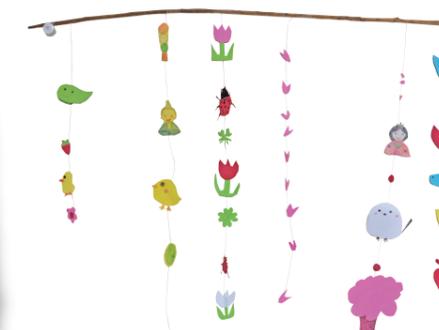
近隣の方と一緒に何かをする機会は減りましたが、事業所でも出来ることを考え、定期的に近くの公園を清掃しています。寒い日に、近くに住んでおられる方が「ありがとう」と言ってくださり、心が暖まりました。



case 3



タイトル：春あらら
作者：北グループ一同【抗瀬福成園】



タイトル：春の楽しみ
作者：有志一同【チャレンジ・コヤリバ】



タイトル：さくら
作者：星班一同【サポートセンターまつば】

地域のクリーン作戦に毎月参加

【塚口福成園】

地域のクリーン作戦に毎月参加して、道路のゴミや雑草を集め地域と協力して近隣の美化に取り組んでいます。清掃中にかけていただくあたたかい言葉が励みになります。また、「田能の里芋」の商品化と販売も3年目になりました。遊休農地による尼崎の名産復活という地域の取り組みにも参加しています。



case 4

自立訓練の地域清掃

【チャレンジ・コヤリバ】

自立訓練の地域清掃中、近隣の方や通りすがりの方から「いつもありがとう」「寒いのごろうさん」など声をかけられます。毎回しっかり返事をしているので、犬の散歩をしているご婦人からあいさつされた時には、近寄ってきた犬にも思わず「こんにちは」と言ってしまう。「声掛けリーダー制」を導入しごみ拾いに集中しすぎていても歩行者にあいさつができています。



case 5

事業所周辺の地域清掃

【サポートセンターまつば】

事業所周辺へ地域清掃に出かけました。利用者同士で力を合わせたこと、ごみをたくさん集めて事業所へ戻って来られていました。その日担当となった利用者も落ち葉やペットボトルなど「たくさん集められた」と帰ってきていただけました。地域の方ともすれ違うこともありましたが、利用者の方から大きな声であいさつをいただけて、笑顔で温まる1日でした。



case 6

月いち地域清掃。

【セントラル】

スーパーやドラッグストア。地域にあるお店でホームの利用者は買い物されます。「あそこに行ったらこれ買える。」とお店を目指して行かれます。好みの物の売り場も覚えておられ、体調を崩された時には「このお店の、ここにある、これを買ってほしい。」と頼まれるくらいです！利用者の大きな安心につながることも、地域での生活の支えになっています。



case 7

令和5年度採用職員募集を開始しました!(就職フェア&採用試験)

【総務】

3月1日～令和5年度に採用する職員募集を開始しました。今年もWEB説明会と対面式の見学会の「ハイブリッド型」で進めていきます。説明会などの申込は、下記のQRコードからお願いいたします。また3月5日(土)13:00～神戸国際展示場2号館で開催した、兵庫県社会福祉協議会主催の「福祉の就職総合フェア in HYOGO」に出展しました!



総務部採用担当
山木



福成会のSDGs

『あま咲きコイン』のことを学びました。

【チャレンジ・コヤリバ】

尼崎市「SDGs」のパンフレットを片手にさまざまな問題やあま咲きコインのことを学びました。「なんで尼崎だけ。伊丹市でもやってくれよ」と叫んだ伊丹市在住の利用者。「家の近くのスーパーで使える。やったー!」とすでにやる気の利用者と反応はさまざまでした。今後もSDGsについて学習していきます。



みんなで動画を見て、考えました。

【清流園】

清流園ではSDGsについての動画を活動中に利用者と一緒に見えています。動画の後には活動でおこなっている地域清掃・農園・園芸活動や、使わない場所の電気を消したりすることがSDGsに貢献していると話し合いました。



『給食でお寿司』

【塚口福成園】

行事の中止が相次ぐ昨今、安全に楽しめるアイデアを募りその中の「給食にお寿司」を実現しました。事前にお寿司のネタを選び、当日は自動でシャリを握る機械の見学をした後、できたお寿司を給食でいただきました。ネタも大きくて大満足。給食業者の魚国さんご協力ありがとうございました。



尼うえるフェア

6月より、市内の障害者施設の手作り商品(雑貨やおかしなど)を販売します。みなさまぜひお越しください。



開催日:

尼うえるフェア ▶ 毎月第2水曜日 10時～14時

ミニ尼うえる ▶ 毎月第2木曜日 11時30分～14時

場所: 尼崎市役所中館1階

各事業所からの『ふふふ』

清流園

ピアノを習っている利用者と実習生のピアノコンサートをおこないました。ポスターを作成し、コンサート開催をみなさまにお知らせしていただき、コンサートに挑まれていました。なじみのある曲が流れるとみなさまも一緒になって唄ったりと楽しい時間となりました。

杭瀬福成園

お昼ごはんの内容が気になるAさん。送迎車で給食メニューを伝えると、笑顔で「食べようね。」と言われたり、「ふーん」と反応が薄かったり、Aさんの食べ物の好き嫌いが分かるので毎朝の楽しみです。

あいあい

大のオリックスファンの利用者、例年は勝敗を気にしていない様子でしたが昨年は25年ぶりのリーグ優勝!ととてもうれしそうにされていました。レクの時は試合にかかる「必殺仕事人」の音楽を口ずさみにっころしています。

サポートセンターまつば

外出支援で近隣のカフェに外出支援に行ってきました。コロナ禍ですが、感染対策を利用者同士で意識しあって声をかける姿、おいしそうにケーキを食べる利用者の笑顔にふふふと感じました。

塚口福成園

コロナ禍でも事業所内で安全に楽しめる行事を企画しました。「園庭で焼きそばを焼いて食べよう」「給食にお寿司」「ミニふれあいカーニバル」利用者の楽しそうな笑顔を見ていると「やっぱり楽しくなくっちゃね」と思います。

チャレンジ・コヤリバ

昨年末の大掃除で不要なものを処分しました。スッキリした作業場に、利用者から「働きやすくなった」「明るくなった」と言ってもらいました。作業ペースをアゲアゲでいきたいのですが、そこはいつもと変わりませぬ。

尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり

尼うえるフェアの初めてスタッフで、緊張している利用者Bさん。他の施設のCさんから「Bちゃん!久しぶり!」と声をかけられると、一気にBさんが満面の笑みに…同級生との再会でBさんの緊張がほどけました。

ショートステイぷちるぼ

慣れない連泊で最初は不安そうだったDさん。日中の事業所でお好きなアニメキャラの絵が入ったカレンダーの予定表を作ってもらってからは、笑顔を見せていただき、宿泊する部屋に貼り出して毎日、楽しそうに予定をチェック。「今日はぷちるぼ」とスタッフにも予定を話してくださるようになりました。

セントラル

スーパーのポイントカードを集めておられるEさん。その事を知っている隣接ホームのFさんが「渡しておいて。」とスタッフに預けてくださることがあります。集まったポイントでホームのメンバーの好きな物を購入され、「美味しいね。」「ポイントありがと。」と笑顔が広がりました。

ことのは

サービス等利用計画のモニタリングの際に、ひととおりが終わり、書類に署名をお願いすると、「○○○さん」と丁寧に“さん付け”でご自分の名前を書いていただき、思わず笑みがこぼれる瞬間でした。

総務部

総務部が引っ越し、一年以上が過ぎました。庭に木々が植わっていて、以前とは違い、葉の色付きや花のつぼみでも、季節の移り変わりを感じるようになりました。植物を楽しめるようになるって、年齢のせいでしょうか。

編集後記

コロナ禍の中、地域のみなさまとイベントやお祭りなど一緒におこなうことが今年度もむずかしかったなと感じていたのですが、できる範囲で地域のみなさまとつながり、活動していたんだなと改めて気づきました。できることなら次年度はみなさまと直接ふれあえることが多くありますように。

